



MYOKO U-15



KUMAMOTO U-22



ODATE U-15

GXA BASKETBALL CUP SERIES

大会運営実績レポート

GXA
BASKETBALL
株式会社 GXA

GXA BASKETBALL CUP SERIES

バスケットボール大会の目的

「GXAバスケットボールカップシリーズ」は、スポーツを通じて対象世代が互いに教え合い、学び合う協働的な機会を提供する大会です。この大会を通じて、選手たちは競技力の向上だけでなく、チームワークやリーダーシップ、そしてコミュニケーション能力を養うことができます。年齢や経験の異なる選手同士が協力し合うことで、互いの成長を支える環境が生まれます。

さらに、大会は地域貢献の機会としても重要です。地域と連携し、地元の人々や企業と交流することで、選手たちは地域社会における役割や責任について学び、地域に対する理解と愛着を深めます。地域コミュニティの支援のもと、若者たちが成長し、地域社会の活性化にも寄与するこの大会は、スポーツを通

じて社会にポジティブな影響をもたらす重要な場となっています。

GXAは、スポーツと教育を通じて社会貢献ができる人材の育成を重視しています。単に競技力を高めるだけでなく、選手や生徒が社会に対して責任を持ち、積極的に貢献できるような人間として成長することを目指しています。

また、教育の面でも個々の成長をサポートし、持続可能な未来を築くために必要な知識や価値観を教えることに重点を置いています。

GXAは、スポーツと教育の両方を通じて、次世代を担う人材が、地域や社会全体の発展に貢献できるような環境を提供し続けていきます。



大実実
会施績

1 妙高高原U-15カップ



名 称 新潟県妙高高原U-15バスケットボールカップ
「追悼 植木毅杯」

日 程 2024年8月10日(土) - 8月12日(月)

会 場 妙高市総合体育館(はね馬アリーナ)
妙高市妙高高原体育館(ほっとアリーナ)

後 援 一財)新潟県バスケットボール協会
新潟県妙高市
一社)妙高ツーリズムマネジメント

協 賛 三幸製菓株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
IN THE PAINT

参加チーム数、総参加選手数 16チーム(男子)、350名

大会実績

2 熊本市U-22カップ



名 称 U-22熊本市 バスケットボールカップ2025

日 程 2025年3月13日(木) - 3月15日(土)

会 場 ナースパワーアリーナ (熊本市総合体育館)

後 援 熊本市

熊本市教育委員会

一社)熊本市バスケットボール協会

一社)熊本国際観光コンベンション協会

メディア取材 熊本日日新聞

熊本日日新聞
3月15日朝刊



熊本日日新聞
3月13日Web版

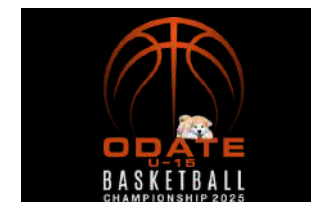


参加チーム数、総参加選手数

9チーム(男子)、200名

大実実
会施績

3 大館市U-15カップ



名 称 大館市U-15バスケットボールカップ2025

日 程 2025年3月29日(土) - 3月31日(月)

会 場 タクミアリーナ(大館市樹海体育館)

後 援 大館市 大館市教育委員会

一社)秋田県バスケットボール協会

一社)大館市バスケットボール協会

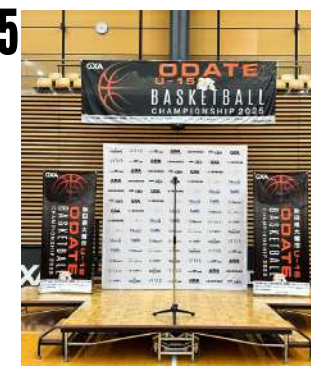
協 賛 スポルディングジャパン株式会社 VITAS

協 力 一社)大館市観光協会 スポーツコミッション大館

スポンサー 株式会社松紀 株式会社トラフィックレンタリース

株式会社みづき 有限会社佐藤養助商店

株式会社北都銀行



メディア
取 材

北鹿新聞



大館東が白星スタート



秋田
さがけ
新報



参加チーム数、総参加選手数 16チーム(男子)、400名

Lead the Future

PLANNING AND CONDUCTING GXA, Inc.

大会実績

4 上越妙高U-15カップ



併催無料クリニック

新潟アルビレックスBB
樋口 蒼生 選手

名 称 新潟県上越妙高U-15バスケットボールカップ

日 程 2025年8月9日(土) - 8月11日(月)

会 場 妙高市総合体育館(はね馬アリーナ)
妙高市妙高高原体育館
上越市中郷総合体育館

後 援 一財)新潟県バスケットボール協会
妙高市 妙高市教育委員会
妙高市バスケットボール協会
上越市バスケットボール協会
公益社団法人 上越青年会議所
一般社団法人 妙高青年会議所

協 賛 スポルディング・ジャパン株式会社
VITAS

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

参加チーム数、総参加選手数 **24チーム(男女)、500名**

参加チーム一覧と 順位 (上位3チーム)



妙高高原U-15カップ

■参加チーム一覧（エントリー順・全16チーム）

No.	チーム名	所属
1	GXAロケッツ	神奈川
2	川中島籠球倶楽部A	長野
3	川中島籠球倶楽部B	長野
4	BADBOY'S U15	新潟
5	JOETSU WILD BOARS	新潟
6	江戸川モンキーズ	東京
7	OJIYABULLS U15	新潟
8	Crawl-UP Knights	東京

No.	チーム名	所属
9	Bullets	長野
10	SHIMONE SUPER SONICS	茨城
11	TSR バスケットボール	埼玉
12	NSCT2nd	長野
13	KAMAKURA SOLMAR	神奈川
14	LOTUS A	新潟
15	LOTUS B	新潟
16	HXL BASKETBALL CLUB	山形

■総合成績（上位3位）



優勝

川中島籠球倶楽部A



2位 TSRバスケットボール



3位 GXAロケッツ



熊本市U-22カップ

■参加チーム一覧（エントリー順・全9チーム）

No.	チーム名	所属
1	専修大学	神奈川
2	東海大学九州	熊本
3	日本経済大学	福岡
4	関西大学	大阪
5	大阪産業大学	大阪

No.	チーム名	所属
6	福岡大学	福岡
7	九州産業大学	福岡
8	九州国際大学	福岡
9	鹿屋体育大学	鹿児島

■総合成績（上位3位）



優勝

専修大学



2位

日本経済大学



3位

大阪産業大学



大館市U-15カップ

■参加チーム一覧（エントリー順・全16チーム）

No.	チーム名	所属
1	GXAロケッツ	神奈川
2	DUO BASKETBALL CLUB	宮城
3	Knights U14	東京
4	Lex Volteckers	秋田
5	TOYANO GOLDEN G.O.A.T. B	新潟
6	横手市立横手南中学校	秋田
7	大館市立東中学校	秋田
8	津軽クラブU-15	青森

No.	チーム名	所属
9	THKROT	岩手
10	八郎潟町立八郎潟中学校	秋田
11	三種町立八竜中学校	秋田
12	TOYANO GOLDEN G.O.A.T. A	新潟
13	五所川原市立五所川原第一中学校	青森
14	SEIAI BBC A	青森
15	SEIAI BBC B	青森
16	宮城WINGS	宮城

■総合成績（上位3位）



優勝

三種町立八竜中学校



2位 大館市立東中学校



3位 GXAロケッツ



【第2回】上越妙高U-15カップ

■男子参加チーム一覧（エントリー順・全16チーム）

No.	チーム名	所属
1	G-CREW	新潟
2	Bullets	長野
3	TETRA（テトラ）	長野
4	川中島籠球倶楽部A	長野
5	川中島籠球倶楽部B	長野
6	GXAロケッツ	神奈川
7	鎌倉SOLMAR	神奈川
8	Knights U15	東京

No.	チーム名	所属
9	TSR BBC	埼玉
10	YESSIR BBC	宮城
11	山形ワイヴァンズセカンド	山形
12	hokka jamaney	石川
13	GOAT	兵庫
14	Yamashiro EAGLES	京都
15	七尾DACHS	石川
16	Crawl-up Knights	東京

■総合成績（上位3位）



2位 七尾DACHS

3位 Knights U15



【第2回】 上越妙高U-15カップ

■女子参加チーム一覧（エントリー順・全8チーム）

No.	チーム名	所属
1	KITE BBC U15	長野
2	TETRA（テトラ）	長野
3	GXAロケッツ	神奈川
4	鎌倉SOLMAR	神奈川
5	AGLAIA（アグライア）	埼玉
6	VENUS BBC	富山
7	hokka jamaney	石川
8	B. Victoire	兵庫

■総合成績（上位3位）



優勝

B. Victoire



2位 TETRA（テトラ）



3位 hokka jamaney





GXA BASKETBALL CUP

GXA BASKETBALL CUPは単なるイベントではなく、地域の「人・モノ・魅力」を活かした持続的なまちづくりの手段です。競技を通じた感動や交流が、人の流れ、経済の流れ、地域の誇りを生み出し、その先にはスポーツツーリズムを通じた「地域全体の活性化」があります。

また、子どもたちにとっても単なる競技の場にとどまらず、チームワーク、努力、礼儀、挑戦する等の人間性の成長にも繋がる貴重な場となっています。

勝敗を超えた学びや他地域の選手との交流といった経験は、将来の地域を担う人材の育成にも繋がり、教育の観点からも大きな意義を持つ事業です。

“スポーツツーリズムが切り拓く地域の未来“

■ 経済効果の創出

- ・ 大会開催によって選手、指導者、保護者、観客などが地域に滞在
- ・ 宿泊、飲食、交通、観光施設などへの波及効果

■ 地域住民との交流

- ・ 地元ボランティアや学校、クラブチームとの協力による一体感
- ・ 応援やおもてなしを通じた交流の促進

■ 地域の魅力発信・ブランディング

- ・ 大会開催による地域名や観光資源の全国への認知
- ・ “スポーツのまち”としての価値向上、将来の観光リピーターの創出

メディア取材実績



競り合う東海大九州と日本経済大の選手たち
 〓ナースパワーアリーナ



全国の大学バスケットボール強豪校が競う「U-22熊本市バスケットボールカップ」が13日、熊本市のナースパワーアリーナで始まった。東海大九州や専修大、関西大など9チームが参加し、熱戦を繰り広げている。入場無料。15日まで。

全国トップレベルの大学チームや有望選手が実力を競い合う場をつくらうと、スポーツイベントやスポーツ留学の支援を手がけるGXA（東京）が主催し初めて開催。2016年の熊本地震からの復興支援や地域活性化の意味も込めて熊本市で行った。

大会は14日まで予選リーグを実施し、15日に決勝トーナメントを行う。

東海大九州の武富楓太主将は「関東や関西のチームは個人の技術が高い。自分たちも吸収したい」と語った。（山下雅文）

大学バスケ 強豪校熱戦
 U-22熊本市
 カップ開幕

本紙:3月14日朝刊

2025年3月13日（木曜日） 熊本 運動

熊本日日新聞

マイページ ログアウト
 電子版ご利用ガイド

熊本のニュース 注目コンテンツ 熊日ビューアー 暮らし情報 オピニオン 全国・海外 小中学生向け

記事を検索

フラッシュ 2025年春 熊本県警異動検索機能付き

ホーム > 大学バスケ強豪校競う U-22熊本市カップ

大学バスケ強豪校競う U-22熊本市カップ

熊本日日新聞 2025年3月13日 18:45

全国の大学バスケットボール強豪校が競う「U-22熊本市バスケットボールカップ」が13日、熊本市のナースパワーアリーナで始まった。東海大九州や専修大、関西大など9チームが参加し、熱戦を繰り広げている。入場無料。15日まで。

全国トップレベルの大学チームや有望選手が実力を競い合う場をつくらうと、スポーツイベントやスポーツ留学の支援を手がけるGXA（東京）が主催し初めて開催。2016年の熊本地震からの復興支援や地域活性化の意味も込めて熊本市で行った。

大会は14日まで予選リーグを実施し、15日に決勝トーナメントを行う。

東海大九州の武富楓太主将は「関東や関西のチームは個人の技術が高い。自分たちも吸収したい」と語った。（山下雅文）



競り合う東海大九州と日本経済大の選手たち＝13日、ナースパワーアリーナ



激しく競り合う東海大九州と日本経済大の選手たち＝13日、ナースパワーアリーナ

WEB版:3月13日配信

取材大会 大館市U-15カップ



本紙:3月27日朝刊

15歳以下
大館バスケット杯を初開催
3月29日から7都県16チームが出場

・ 大会は15時開演。U-15の男子16チームが出場するバスケ大会。U-15大館市バスケリーグボールカップは29、31日の2日間、同市タクミリーナで初めて開かれる。スポリ分野で事業を展開する旅行会社（S&A）が主催、スポリコミッション（S&A）が協賛、大会を通じて県外への誘客につなげる狙いがある。

バスケ

U-15大館杯開幕

7 都県16チームが激突

7都府から男子15歳以下（U15）のチームを招いた「U15大館市バスケットボールカップ」が29日、同市タクミアリーナで開幕した。4ブロックに分かれて予選リーグ各々試合を行い、大館東中は84・53でナイツU14（東京都）に快勝し、白星スタートを切った。

スポーツ分野で事業を展開する旅行会社「GX A（東京都）が主催。中学生の大会が少ない年度末に実戦の機会を提供しよう」と開催した。秋田、青森、岩手、宮城の東北4県に加え、新潟、神奈川両県と東京都から16チームがエントリー。31日まで3日間の熱戦を繰り回している。

大館東は初日1試合を行った。序盤からリバウンドやこぼれ球に食らいついで好機を広げ、ドライブシュートやコーナーからの3点シュートなどで得点を重ねた。前半を49

28で折り返した。3クォーターは巧みなパスワークで攻め立て、75・37とダブルスコアまで突き放した。最後は84・53で快勝した。

試合後に勝利インタビューが行われ、山田一（心副主将）は「最初緊張したが、自分たちならできると信じ、勝つことができた」と話した。

同校の石田健（コーチ）は「全く情報がない対戦相手はびっくりなので、自分たちがやってきたことを信じてプレーするし、冬期間の練習成果を

30日は午前9時に開会式を行い、10時から各ブロックで予選リーグ4試合を行う。午後1時には市内の小中学生を招いたバスケットボール教室が開かれる。GX A社員で元プロバスケットボール選手の玉田博人さんが講師を務める。初日の結果は次の通り。
 ▼予選リーグAブロック
 GX A 53-46 THKK (神奈川)
 五所川原 48-38 八郎潟 (青森)
 ▼同B
 大館東 84-53 ナイツU14 (東京)
 津軽クラブ 61-56 宮城WIN (宮城)
 ▼同C



予選リーグAブロック、シュートする大館東の藤垣
(タクミアリーナ)

本紙:3月30日朝刊

大館東が予選首位通過

男子バスケ。パス中心に速攻 U15大館杯

7都県の男子15歳以下(U-15)の16チームが争う「U-15大館市バスケットボールカップ」は第2日の30日、同市タクミアリーナで予選リーグを行い、大館東中は全勝で1位トーナメントに進出した。最終日の31日は予選順位に応じて決勝トーナメントを行う。

大館東は2試合を行い、津宮城WINGS(宮城)に94対78、青森に78対30、161で勝利。前日と合わせて

第3クォーター以降はパス

3戦全勝で首位通過した。津宮城クラブとの試合ではパスを中心とした速攻で圧倒。第1クォーターから3点シュートを的確に沈めて得点を稼ぎ、33対13で前半を折り返した。

最終日の1位トーナメントには大館東のほか、GXAロケット(神奈川)、SEIAI

BBC(青森)、八竜が進出。大館東は準決勝でGXA

ロケットと対戦する。

第2日の結果は次の通り。

▽予選リーグAブロック

GXA 45 八郎潟

(神奈川)

五所川原 48 42 THK

(青森)

GXA 51 43 五所川原

THK 63 56 八郎潟

①GXAロケット3勝②五所川原1勝③THKR

OT1勝2敗④八郎潟3敗

▽同B



大館東一津宮城クラブ、レイアップシュートする大館東の畠山(タクミアリーナ)

元プロ選手講師に バスケット教室も開催

児童が基礎習得に汗

午後の試合開始前には元プロ選手・玉田博人さんが講師のバスケットボール教室が開かれ、市内の小学生がドリブルやシュートの基礎的な技術を学んだ。

玉田さんはプロバスケットボールB2の鹿角島レブナイズなどでプレー。現在は大会を主催する旅行会社「GXA」で社員として働いている。

教室には市内のスポーツ少年団に所属する児童22人が参加。ドリブル、シュート練習を行った後、試合形式で学んだ技術を試した。



玉田さんからシュートの仕方を学ぶ子どもたち(タクミアリーナ)

玉田さんは「よく考え、その内容で練習で表現する。試練繰り返してきている人。今

日学んだことをしっかりと復習し、次につなげてほしい」と呼びかけた。

ミニバスケットボール少年「比内ウイングス」でプレーしている長谷部結羽さん(西館小5年)は「基本を復習できたので良かった。試合でも使って、もっとチームが強くなるように頑張りたい」と意気込みを語った。

本紙:3月31日朝刊



各試合後には場内インタビューの場が設けられ、大会の雰囲気を盛り上げている

U15大館市バスケットボールカップ2025



3日間の日程で開幕したU15大館市バスケットボールカップ2025

県内外16チームを招いた「U15大館市バスケットボールカップ2025」が20日、同市のタクミアリーナで開幕した。各種スポーツの合宿やイベント事業などを手がける「GXA」（東京）が初めて企画。各地の中学校とクラブチームが貴重な実戦の場として参戦している。31日まで。

大会はGXAがスポーツツーリズムの一環として昨夏から新潟県妙高市などで開催。大館市での開催は、バスケットコート4面を確保できるタクミアリーナの機能

県内外 交流人口拡大へ初開催

性や北東北各地からのアクセスの良さ、大館能代空港（北秋田市）の存在が決め手になったという。大館市や市スポーツ協会などでつくるスポーツコミッション大館もスポーツを通じて交流人口の拡大を図っており、同社の打診を快諾した。今大会には本県の5チームのほか、青森、岩手、宮城、新潟、神奈川、東京の1都5県のチームが参加。中学校とクラブチームが垣根を越えて競うのが特徴の一つだ。

2日間の予選リーグの後、最終日は順位決定戦を含むトーナメント制とする。ことで選手の経験の場を確保した。「負け癖」をなくすことで、チームが滞在する市内6カ所の宿泊施設側にとってもメリットとなっている。

昨年の全県新人戦で3位だった大館東中は、初戦で「Knights U14」（東京都）と対戦。山田一心副主将（2年）は「体の当て方一つをとってもあま

り経験したことがないようなものだった。全国大会を目指している中で、県外チームとできるのはありがたい機会」と話した。

新潟県のクラブチーム「TOYANO GOLD ENG O.A.T」の加藤太朗主将（鳥屋野中2年）は「大館に来るのは初めてで自然が豊かな印象。きれいなアリーナで気持ちが高まる」と語った。

GXAの担当者は「徐々

に参加チームを増やして男女の大会を開催できればベスト」と話し、来年以降の大館開催も前向きに検討していくという。スポーツコミッション大館の田村哲也事務局長は「県内の子どもたちからすれば普段とは違うチームと対戦できて競技力向上につながるはず。県外の選手や保護者にとっても、また大館を訪れるきっかけになってほしい」と期待した。（間杉大旗）

県北版:3月30日朝刊



株式会社 GXA

東京都中央区日本橋小伝馬町14-7

TB小伝馬町ビル5F

TEL 03-6667-0840 FAX 03-6667-0824

Lead the Future

PLANNING AND CONDUCTING **GXA, Inc.**